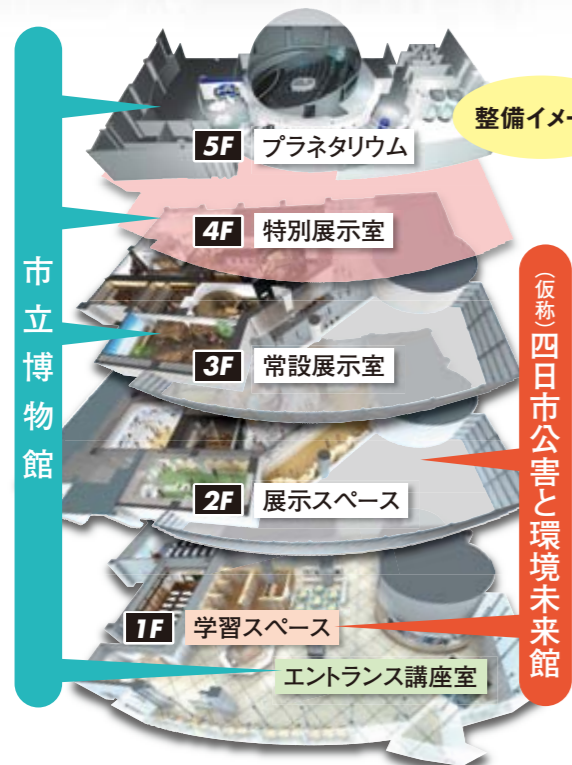




平成27年
3月末

「四日市公害と環境未来館」が 開館します！

同時に 市立博物館も
リニューアルします



平成27年3月、「(仮称)四日市公害と環境未来館」が博物館内に開館(予定)します。

さらに、開館20周年を迎えた博物館の常設展示やプラネタリウムも、一体的にリニューアルすることで、本市ならではの魅力ある施設に生まれ変わります。

「道(交通)」と「暮らし」を両施設共通のテーマとした上で、本市の歴史の中に『四日市公害の発生と環境改善のプロセス』も位置付け、環境について未来志向で考えるための学習・情報発信施設が「(仮称)四日市公害と環境未来館」です。

今回の特集では、それぞれの施設の概要について紹介します。

※活動スペースは、
じばさん三重内に整備予定

(仮称)四日市公害と環境未来館

目的

四日市公害の歴史と教訓を風化させることなく次世代に伝えるとともに、環境改善のまちづくりと産業発展の中で得た知識と経験、技術を生かし、都市と環境が調和するまちづくりをさらに進め、未来に豊かな環境を引き継ぎます。

さらに、公害や環境問題に対する本市の取り組みを国内外に広く情報発信する拠点として、「(仮称)四日市公害と環境未来館」を整備します。

内容

主に次の3つのエリアで構成します。

- 1 展示エリア**
 博物館2階
 公害や環境に対する体系的な展示や体感・体験的な展示を行い、公害や環境に興味や関心を持っていただきます。
- 2 学習エリア**
 博物館1階
 語り部の講話や体験型の環境学習の実施のほか、書籍・資料を整備し、公害・環境に関する研究・学習を支援します。
- 3 活動エリア**
 じばさん三重2階
 会議室や掲示スペースを設け、環境活動を実践する団体などを支援します。

四日市公害

本市は、約半世紀前に「四日市公害」を経験しました。当時の日本は、戦後復興から高度経済成長期に入り、経済優先の社会背景のもと、全国各地に大規模な工場が次々と建設され、工場周辺ではさまざまな「公害」に悩まされるようになりました。

本市も、大気汚染によって多くの人々がぜん息りかんに罹患しました。(現在も、公害病認定患者数は400人を超える状況です。)

こうした状況を受けて、全国に先駆けて昭和40年に本市が実施した公害健康被害者に対する医療費救済制度、そして昭和42年に提訴された四日市公害裁判などは、日本の公害問題の解決への道を開き、産業と環境を両立させるきっかけになりました。

市民、企業、行政が一体となった環境改善の取り組みなどにより、昭和51年に、ぜん息の主な原因とされる二氧化硫黄濃度は、国の基準を市内全域でクリアするようになりましたが、公害発生後の取り組みや歴史が全国的にほとんど知られていないため、いまだ「公害のまち」のイメージは色濃く残っているのが現状です。



昭和40年代のコンビナート



現在のコンビナート

展示エリア/2階

展示エリアを「①産業の発展と暮らしの変化」「②公害の発生」「③まちづくりの変遷」「④環境改善の取り組み」「⑤現在の四日市」「⑥環境先進都市四日市」の6つのコーナーに分け、公害による被害のほか、公害発生に至る経緯や環境改善の取り組みなどを展示します。

四日市公害に関する資料や映像などを通じて、環境と産業、そして人々の生活との関わりを学び、環境の大切さを体感して、未来の環境を考えてもらう場とします。



2階 展示エリア イメージ図



① [産業の発展と暮らしの変化] コンビナート形成に至る社会背景と暮らしの関わりを紹介します



② [公害の発生] 四日市公害と他の大気汚染公害の概要を紹介します

語り部・ 展示解説を しませんか？

「(仮称)四日市公害と環境未来館」の2階の展示エリアでお手伝いいただく語り部・解説員を募集します。下記のとおり説明会を実施しますので、ぜひご参加ください。詳しくは、広報よっかいち2月下旬号でご案内します。

1. 日時 平成26年3月15日(土) 10:00~16:00
2. 場所 環境学習センター(本町プラザ4階)

学習エリア/1階

学習エリアでは、皆さんの公害・環境学習のお手伝いをします。

研修・実習室では、四日市公害についての語り部の講話やガイダンスを見ていただくほか、エコ工作などのワークショップを行います。

また、図書スペースには公害・環境に関する本を1万冊程度備え、展示・交流・学習スペースでは自習などができます。



1階 学習エリア イメージ図

活動エリア/じばさん三重2階

博物館北側のじばさん三重の2階に「(仮称)四日市公害と環境未来館」の活動エリアとして、環境活動にご利用いただけるスペースを設けます。

活動エリアには会議室やロッカーのほか、皆さんの活動を展示できるスペースなどを用意します。

寄附 の お願い

「(仮称)四日市公害と環境未来館」の整備・運営にご共感いただける方からのご寄附を4月から募ります。

未来に豊かな環境を引き継ぐために、ぜひ、ご支援いただきますよう心からお願いいたします。詳しくは、四日市公害と環境未来館準備室(☎354-8065)にご連絡いただくか、ホームページ(HP <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/yokkaichikougai-kankyomiraikan/>)をご覧ください。



2 [古代]久留倍の村(竪穴住居)



3 [中世]四日市の市



4 [近世]四日市宿

展示ケースの中に資料を並べるのではなく、四日市の各時代の特徴を象徴する建物や道具を原寸大で再現し、古代から江戸時代までの四日市の発展と、そこに住む人々の暮らしを展示します。

博物館に来なくては得られない情報を体感することで、四日市の歴史を振り返り、未来を考える場となることを目指しています。

また、明治時代以降の歴史を2階の「(仮称)四日市公害と環境未来館」で扱うことで、両館を通じて古代から現在までの四日市の歴史を連続してご覧いただける展示とします。

博物館休館のお知らせ

博物館はリニューアル工事のため平成26年5月12日から休館します。なお、工事休館中も出前講座や移動天文車きらら号の活動は継続して行います。

市立博物館

プラネタリウム/5階

宇宙船に乗って
宇宙への旅に
出よう!

世界で最も先進的な プラネタリウム!

プラネタリウムは宇宙ステーションの展望フロア!
投映できる星の数は、現在の2万5千個から1億4千万個と、世界最多の星の数になります。
宇宙空間でキラッと輝く星も、地上から見た自然な星空もどちらも体験できる光学式投映機と、大迫力の全天周8Kデジタル投映機で臨場感ある星空を再現し、あらゆる角度から宇宙を体感できます。

プラネタリウムイメージ図

プラネタリウムは、従来の「地球から見た宇宙」という視点だけでなく、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たなまなざしで、私たちの星「かけがえのない地球」を見つめ直す新時代のプラネタリウムへと進化します。

私たちと宇宙をつなぐスペースポート

5階展示コーナーでは、地球でいま何が起きているか、宇宙からの視点で「地球環境」を学ぶことのできるコズミックギャラリーとコズミックラウンジを整備し、宇宙への憧れを楽しく演出します。



宇宙および宇宙から見た地球環境をテーマにした展示を行います



地球環境や宇宙の不思議を学ぶワークショップを行います

編集後記

今回特集した「(仮称)四日市公害と環境未来館」と「市立博物館」は体感・体験型の施設となる予定です。四日市を地球規模で感じ、見つめ直すことで、きっと自分たちのまちに誇りが持てるようになると思います。皆さんもぜひお越しください。
(四日市公害と環境未来館準備室 山岸、博物館 廣瀬、広報広聴課 丹羽)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 四日市公害と環境未来館準備室 ☎354-8065 FAX 354-4412

博物館 ☎355-2700 FAX 355-2704

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974